

最近の鑄造業界動向

2021年11月8日

一般社団法人 日本鑄造協会

本資料は、会員企業の企業活動の参考資料として、鑄造に関する公表統計データ及び当協会が個々に集計・公表している統計データを基に、当協会事務局の責任において毎月作成しているものです。本資料の過去のデータは協会ホームページの中の会員専用ページに掲載しています。

URL=<https://foundry.jp>

業種別動向

1－1. 銑鉄鋳物

- (1) '21年10月29日に政府が発表した'21年9月の銑鉄鋳物の生産量(速報)は236千トンで、前月比3.7%増、前年同月比10.5%減(前々年同月比4.4%減)となり、前月比は再びのプラス、前年同月比は10ヶ月ぶりのマイナスとなった。'07年指数では63.2と、前月に続いて70を下回った。生産量でも前月に続いて250千トン台を下回った。(5頁参照)

用途別の生産動向推移(確報)の'21年8月の自動車用銑鉄鋳物の生産量は141,085トンとなり、前月比26.1%減、前年同月比9.3%増(前々年同月比7.6%減)となった。前月比は3ヶ月ぶりのマイナス、前年同月比は6ヶ月連続のプラスとなり、'07年指数は63.5と、3ヶ月ぶりの60台となった。(6頁参照)

自動車用を除く製品別対前年同月比では、一般・電気機械用全体は40.5%増、(前々年同月比3.6%増)産業機械器具用41.7%増(同0.4%減)、金属工作・加工機械用61.8%増(同11.1%増)、その他の一般・電気機械用33.8%増(同7.1%増)、輸送機械用全体は前年同月比10.4%増(同7.2%減)、その他の輸送機械用24.6%増(同1.9%減)、その他の銑鉄鋳物は6.4%増(同8.7%減)となった。(7頁参照)

- (2) 当協会四半期調査(193社回答、以下四半期調査という)では、'21年9月の生産量で前年同月比プラスの企業の比率は68.8%となり、前回調査(2021年6月)に比べ4.3ポイント減と、5調査ぶりに減少した。また、操業率90%以上の企業の比率は前回調査から0.8ポイント増の77.6%と、5調査連続の増加となった。残業20時間以上の企業の比率は前回調査比1.3ポイント減の38.8%となり、5調査ぶりに減少した。操業率は上昇したものの、生産量増加率、残業時間ともに減少しており、回復の鈍化が懸念される。(16頁参照)

- (3) 当協会の毎月調査(対象45社、以下毎月調査という)では、'21年9月の生産量の前年同月比に対する「増加企業」は前月比2.4ポイント増の78.6%となった。「減少企業」は前月比2.4ポイント減の11.9%となった。「増加企業」は半年前比22.5ポイント、一年前比68.8ポイントのそれぞれプラスとなり、「減少企業」の半年前比が17.4ポイント、一年前比が73.5ポイントのそれぞれマイナスとなっている。調査結果は「グラフ1」に示す。

また、2年前対比では、「増加企業」は41.5%にとどまり、「減少企業」が48.8%と依然として半数近くとなっている。2年前対比の「減少企業」のうち、「-10%以上減少」と回答した企業は前月比9.7ポイント増の31.7%と、減少企業全体の6割超となっている。(18頁参照)

1－2. 鋳 鋼

'21年9月の生産量は、12,618トンで、前月比は13.3%増、前年同月比12.8%増となり、前月比は3ヶ月ぶりのプラス、前年同月比は5ヶ月連続のプラスとなった。07年指数は51.7となり、3ヶ月ぶりの50台となった。(8頁参照)

1－3. 銅・銅合金

'21年9月の生産量は4,968トンで、前月比8.0%増、前年同月比12.2%増となったものの、3ヶ月連続の4千トン台となった。前月比は3ヶ月ぶりのプラスとなり、前年同月比では、5ヶ月連続のプラスとなった。'07年指数は55.8となり、8ヶ月連続の50台となった。(9頁参照)

1－4. アルミニウム鋳物

'21年9月の生産量は24,488トンで、前月に続いて3万トンを下回った。前月比6.1%減、前年同月比26.7%減となり、前月比は前月に続いてのマイナス、前年同月比は7ヶ月ぶりのマイナスとなった。'07年指数は67.6となり、13ヶ月ぶりの60台となった。(10頁参照)

2. 需要見通し

- (1) 鋳物需要の過半を占める自動車の'21年8月の国内生産は48.1万台、前年同月比は13.6%減となった。(11頁参照)
2018年度から8月データは10月公表となった。
- (2) '21年9月の工作機械受注は1,446億円、前年同月比71.9%増と11ヶ月連続のプラス、内需は7ヶ月連続のプラス、外需は11ヶ月連続のプラスとなった。なお、中国向けは16ヶ月連続の前年同月比プラスとなった。(11頁参照)
- (3) '21年8月の産業機械受注は4,041億円、前年同月比16.7%減となり、3ヶ月ぶりのマイナスとなった。(11頁参照)
- (4) '21年9月の建設機械出荷額は2,545億円、前年同月比29.1%増と8ヶ月連続のプラスとなった。内需は再びのマイナス、外需は11ヶ月連続のプラスとなった。(11頁参照)
- (5) 銅合金鋳物の生産に大きな影響のある新設住宅着工戸数は、'21年9月は73,179戸、前年同月比4.3%増と7ヶ月連続のプラスとなった。(11頁参照)
- (6) 毎月調査の9月の受注残が1ヶ月以上の企業比率は、前月比1.0ポイント減の41.4%となった。(19頁参照)
- (7) 四半期調査の9月の今後の景況感では、「良くなる」と回答した比率は、前回調査(2021年6月)比で9.5ポイント減の23.5%、「横ばい」の比率は10.6ポイント増の64.5%、「悪くなる」の比率は1.1ポイント減の12.0%となった。「良くなる」が減少し、3調査ぶりの20%台となった。「悪くなる」は6調査連続の減少となったが、「横ばい」と回答した企業は前回調査に続いて上昇し、6割以上となったことから、今後の景況感是不透明感が強まった状態にある。(17頁参照)
- (8) 毎月調査の9月の今後の景況感では、「良くなる」が前月比2.4ポイント増の7.5%となり、「横ばい」が前月比8.1ポイント増の85.0%、「悪くなる」が前月比10.4ポイント減の7.5%となった。「良くなる」は前月に続いて10%を下回り、一桁台となった。(19頁参照)

- (9) '21 年 10 月 29 日に政府が発表した'21 年 9 月の鉱工業生産指数（速報）は、2015 年を 100 として 89.5 と、前月比 5.4%の低下となった。鉱工業生産予測調査は、'21 年 10 月は前月比 6.4%の上昇、11 月は同 5.7%の上昇見込みと予測。総じてみれば、生産は足踏みをしている。なお、低下業種は自動車工業、汎用・業務用機械工業、プラスチック製品工業等、上昇業種は無機・有機化学工業、化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）、石油・石炭製品工業等となっている。

3. 原材料動向

- (1) 主要原材料であるスクラップの'21 年 9 月の動向は横ばいで推移していたが、10 月に入ってから再度の上昇が続いている。（12 頁参照）
- (2) 毎月調査の原材料平均価格指数の'21 年 9 月の動向は、スクラップは、'20 年 6 月以降上昇が続いており、特に 12 月以降は急激な上昇が続いている。鋳物用コークスは、'21 年 1 月から緩やかに上昇して高値横ばいとなっていたが、8 月以降は再度上昇している。鋳物用銑鉄は細かな上下はあるものの、上昇傾向となっている。（20 頁参照）
- (3) '21 年 9 月の国内銅建値は、トン当たり 1,079 万円、前月比 0.4%増と、4 ヶ月ぶりの増加となった。前年同月比は 43.9%増となり、'07 年指数では 121.43 となった。（13 頁参照）
- (4) '21 年 9 月のアルミニウム地金は、キログラム当たり 377.0 円、前月比 6.9%増と 16 ヶ月連続の上昇となった。前年同月比は 38.0%増となり、'07 年指数は 130.2 と 6 ヶ月連続の 100 台となった。（14 頁参照）

4. 損益動向

- (1) 四半期調査の 9 月の受注単価動向は、3 ヶ月前対比で上昇した企業は前回調査（2021 年 6 月）に比べ 15.6 ポイント増の 51.0%となり、調査開始以来初めての 50%台となった。また、下降した企業の比率は前回調査から 0.9 ポイント減少し、1.6%となり 4 調査連続で 10%を下回った。（16 頁参照）
- (2) 毎月調査の 9 月の受注単価の上昇した企業は前月比 15.8 ポイント増の 52.4%となり、前月に続いての増加となった。下降した企業は前月と変わらず 2.4%、「横ばい」の企業は前月比 15.8 ポイント減の 45.2%となった。（18 頁参照）
- (3) 四半期調査の 9 月の黒字企業比率は、前回調査（2021 年 6 月）に比べ 7.3 ポイント減の 27.4%と、3 調査ぶりの 20%台となった。トントンの企業は 4.5 ポイント増の 38.9%、赤字企業は 6.6 ポイント増の 33.7%となった。赤字企業が再び増加し、30%台となった。（17 頁参照）
- (4) 毎月調査の 9 月の黒字企業の比率は、前月比 19.1 ポイント増の 40.5%、赤字企業は前月比 14.2 ポイント減の 31.0%となり、赤字企業は再びの 30%台となった。黒字企業は半年前比 2.4 ポイント、一年前比 21.0 ポイントのそれぞれプラスとなり、赤字企業は、半年前比 7.1 ポイント、一年前比で 30.0 ポイ

ントのそれぞれマイナスとなっている。(19 頁参照)

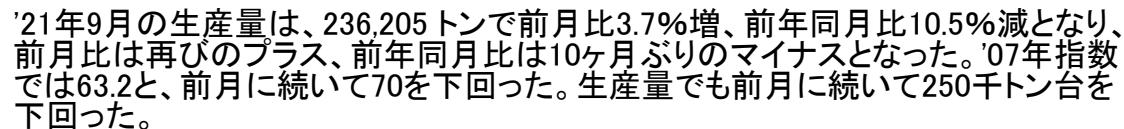
5. 資金繰り関係

- (1) 毎月調査の 9 月の資金繰りについては、「概ね順調以上」と回答した企業は前月比 2.3 ポイント増の 76.1%で、4 ヶ月連続の 70%台となった。
(20 頁参照)
- (2) '21 年 10 月の新たな銑鉄鋳物製造業の倒産、転廃業の報告は、なかった。'21 年の倒産・転廃業は 10 月現在で 3 件となっている。(21 頁参照)

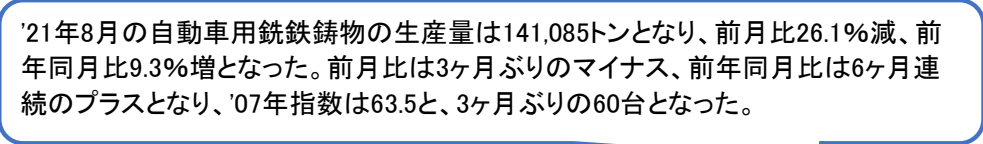
注：競争法コンプライアンスに係る取組み強化に伴い、原材料価格実数に関する統計データは、公表されている市況データを除いて、掲載を取り止めています。なお、皆様におかれましても、価格等競争法上の疑義を招くデータの取扱いには、細心の注意をお願いします。

■ 銑鉄鋳物生産量

—■— 2007年平均を100とした指数

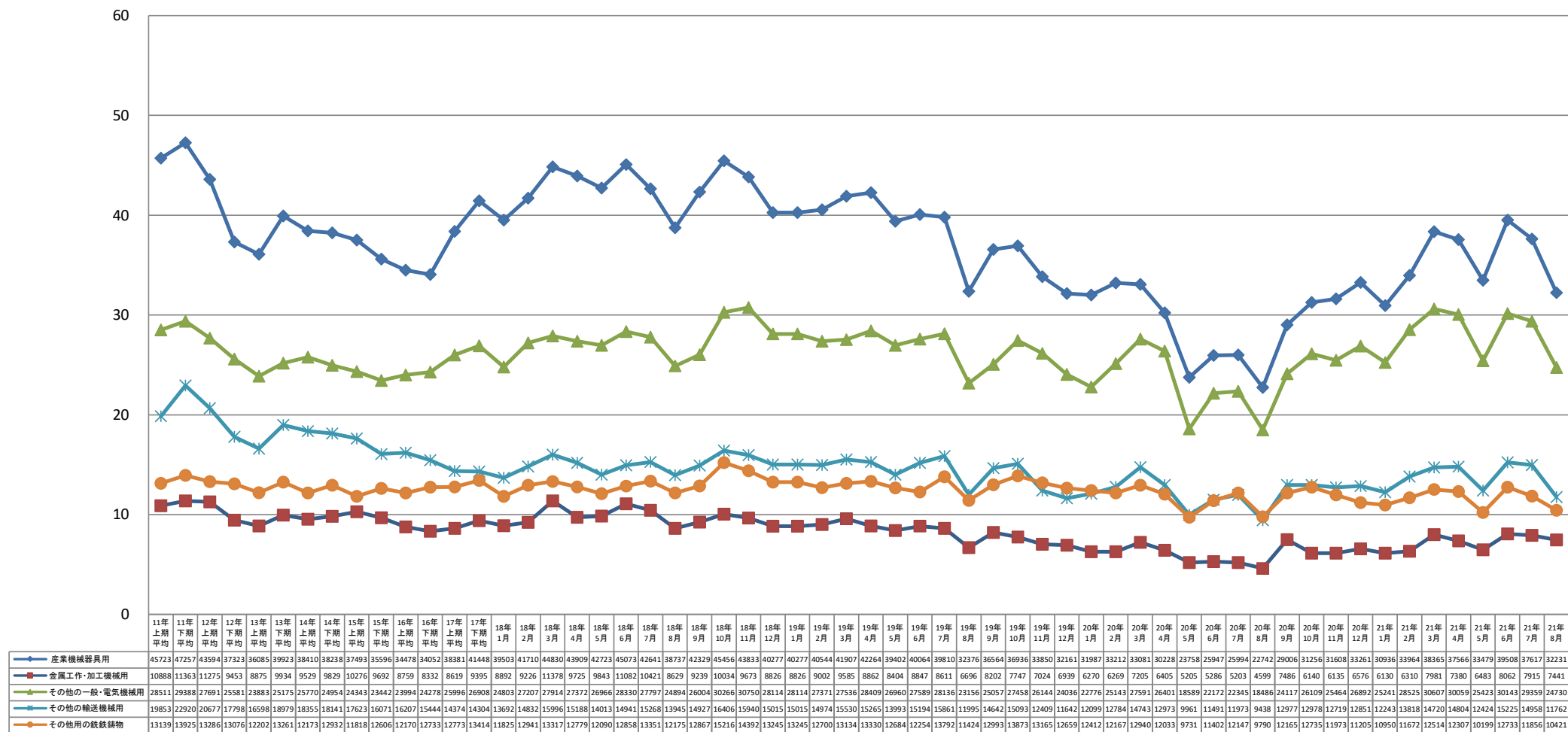


千トン



千トン

1-3. 銑鉄鋳物製品別生産量の推移(自動車を除く)



出典：経済産業省生産動態統計

トン

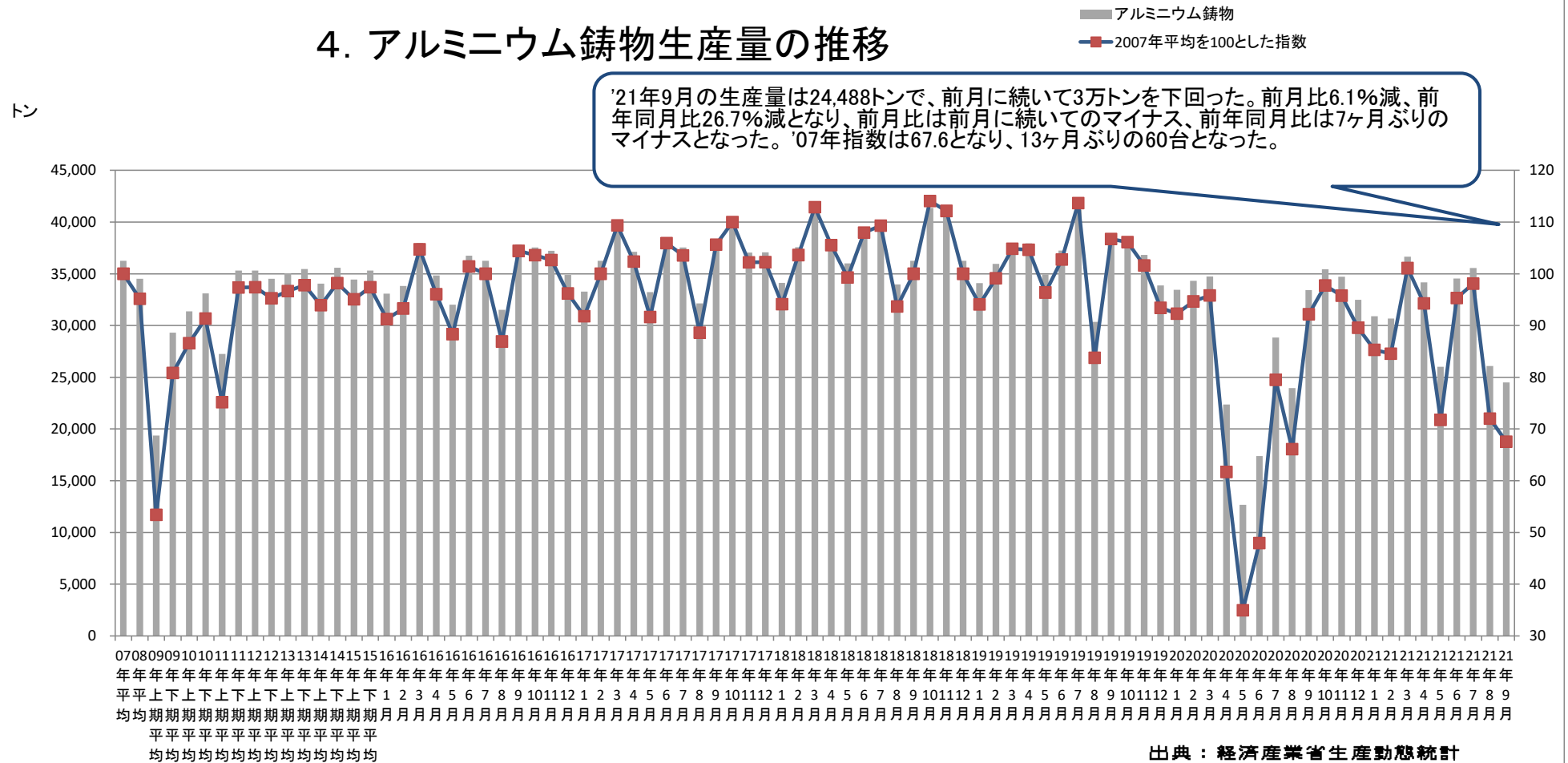
'21年9月の生産量は、12,618トンで、前月比は13.3%増、前年同月比12.8%増となり、前月比は3ヶ月ぶりのプラス、前年同月比は5ヶ月連続のプラスとなった。07年指数は51.7となり、3ヶ月ぶりの50台となった。

8

■ 銅・銅合金鑄物



4. アルミニウム鋳物生産量の推移

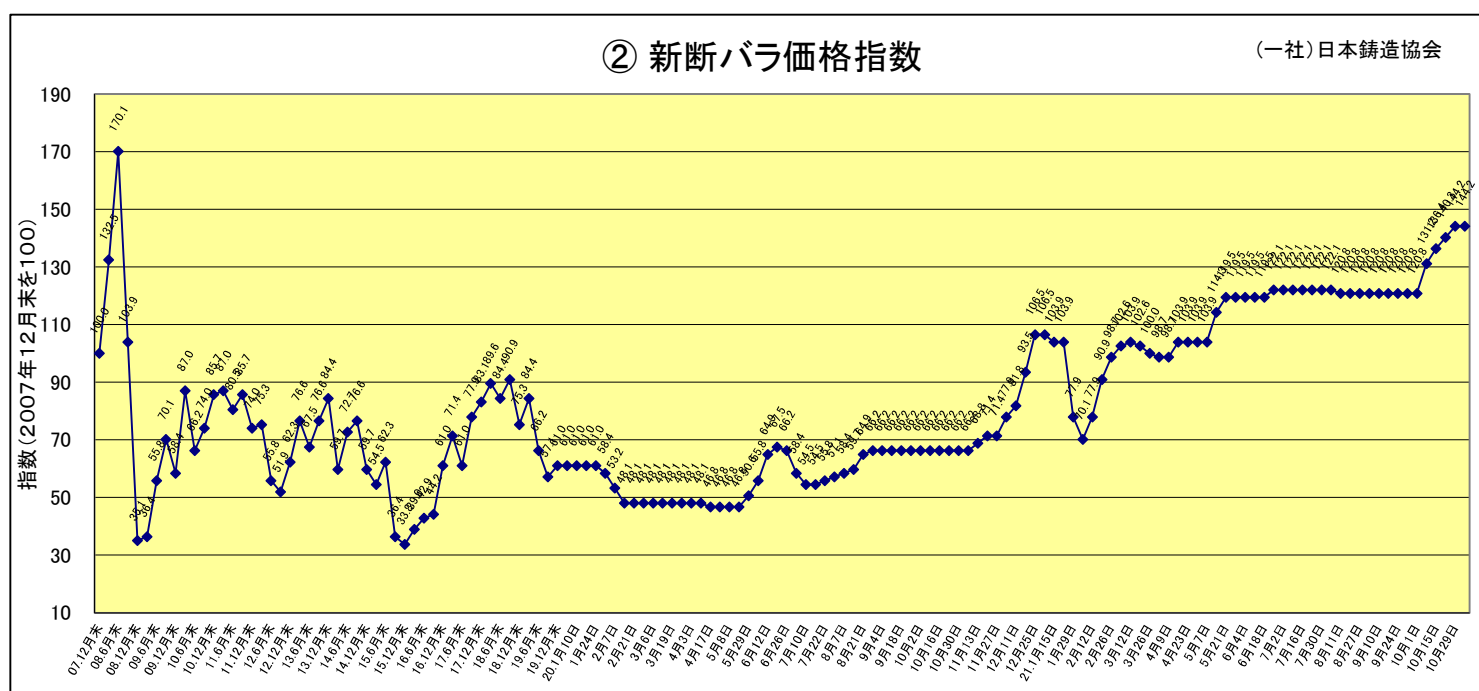
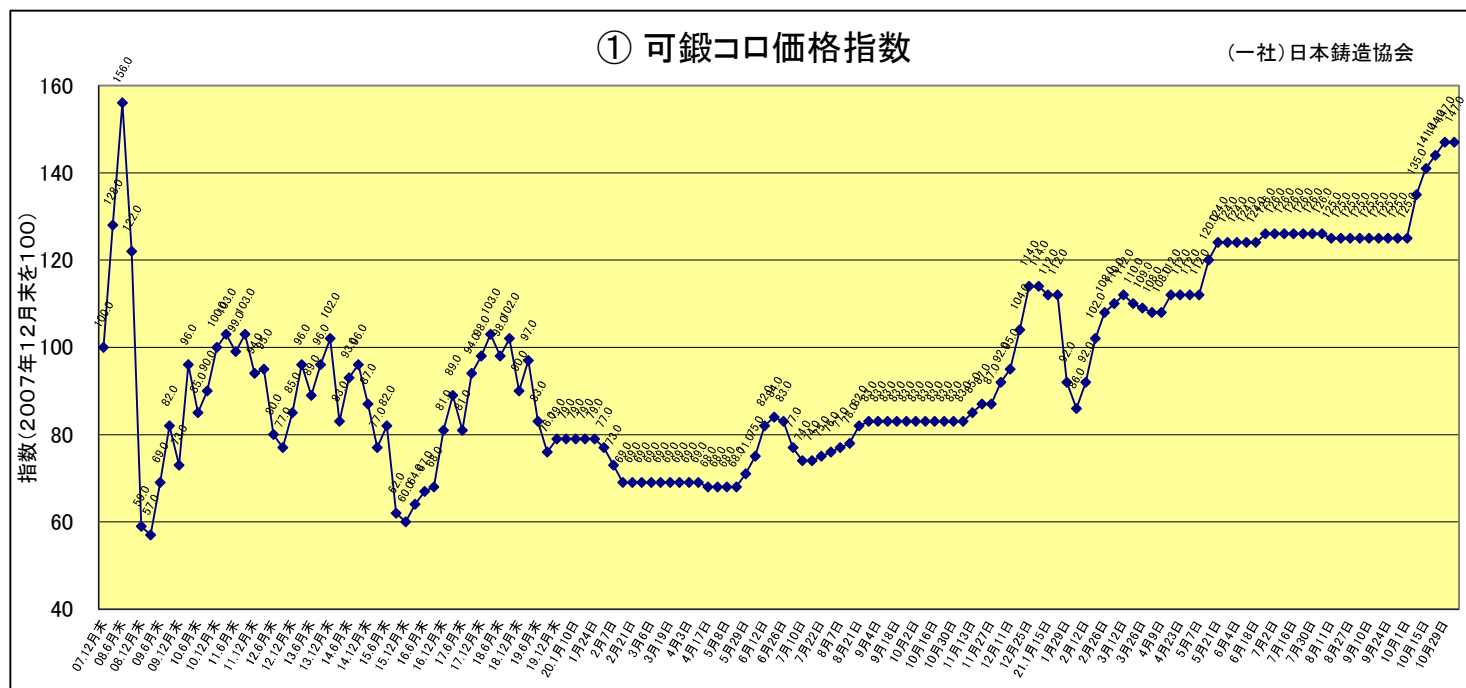


5. 最近のユーザー業界と銑鉄鋳物生産動向

*斜字は速報値

	自動車 生産台数 (台)	08年 上期平均 比	産業機械受注 (億円)	08年 上期平均 比	工作機械受注 (億円)	08年 上期平均 比	建設機械出荷 (億円)	08年 上期平均 比	新設住宅着工 戸数 (戸)	08年 上期平均 比	ウェイト関係 生産台数 (台)	08年 上期平均 比	銑鉄鋳物生産 (トン)	08年 上期平均 比
08年度 上期平均	1,009,507	100.0	6,318	100.0	1,300	100.0	2,259	100.0	90,598	100.0	31,580	100.0	382,302	100.0
12年平均	828,554	82.1	4,369	69.2	1,011	77.8	1,905	84.3	73,566	81.2	23,323	73.9	299,812	78.4
13年平均	803,568	79.6	3,978	63.0	933	71.7	1,848	81.8	81,640	90.1	22,794	72.2	289,620	75.8
14年平均	814,466	80.7	4,753	75.2	1,258	96.8	2,024	89.6	74,355	82.1	25,367	80.3	290,111	75.9
15年平均	772,572	76.5	4,516	71.5	1,234	94.9	1,943	86.0	75,775	83.6	24,815	78.6	277,331	72.5
16年平均	781,295	76.0	4,674	74.0	1,042	80.1	1,805	79.9	80,642	89.0	23,163	73.3	269,576	70.5
17年平均	807,556	80.0	4,194	66.4	1,372	105.5	2,090	92.5	80,387	88.7	25,621	81.1	286,307	74.9
18年 上期平均	809,984	80.2	4,316	68.3	1,607	123.6	2,256	99.8	75,014	82.8	26,532	84.0	289,608	75.8
18年 下期平均	811,438	80.4	4,135	65.5	1,419	109.1	2,342	103.7	82,048	90.6	28,157	89.2	294,570	77.1
19年 上期平均	828,771	82.1	4,101	64.9	1,137	87.4	2,341	103.6	74,854	82.6	28,639	90.7	285,896	74.8
19年 下期平均	785,278	77.8	3,973	62.9	913	70.2	2,047	90.6	76,000	83.9	24,277	76.9	267,881	70.1
20年 上期平均	603,439	59.8	4,045	64.0	683	52.6	1,799	79.6	66,353	73.2	24,911	78.9	212,342	55.5
7月	697,867	69.1	2,665	42.2	698	53.7	1,743	77.1	70,232	77.5	23,445	74.2	228,931	59.9
8月	556,276	55.1	4,850	76.8	680	52.3	1,397	61.8	69,101	76.3	18,171	57.5	194,109	50.8
9月	821,092	81.3	4,182	66.2	841	64.7	1,972	87.3	70,186	77.5	26,789	84.8	263,971	69.0
10月	838,205	83.0	3,067	48.5	822	63.2	1,908	84.4	70,685	78.0	28,541	90.4	274,563	71.8
11月	782,237	77.5	3,160	50.0	887	68.2	1,904	84.3	70,798	78.1	26,850	85.0	266,126	69.6
12月	751,629	74.5	3,829	60.6	991	76.2	1,937	85.7	65,643	72.5	26,655	84.4	262,410	68.6
20年 下期平均	741,218	73.4	3,626	57.4	820	63.1	1,810	80.1	69,441	76.6	25,075	79.4	248,352	65.0
2021年1月	687,029	68.1	2,623	41.5	886	68.2	1,745	77.2	58,448	64.5	24,754	78.4	247,212	64.7
2月	704,800	69.8	9,873	156.3	1,056	81.2	2,034	90.0	60,764	67.1	27,624	87.5	258,471	67.6
3月	869,937	86.2	6,611	104.6	1,279	98.4	2,899	128.3	71,787	79.2	31,639	100.2	295,868	77.4
4月	721,363	71.5	3,413	54.0	1,240	95.4	2,069	91.6	74,521	82.3	29,585	93.7	285,971	74.8
5月	502,828	49.8	2,822	44.7	1,239	95.3	2,050	90.7	70,178	77.5	26,354	83.5	227,353	59.5
6月	737,420	73.0	4,123	65.3	1,320	101.5	2,442	108.1	76,312	84.2	33,156	105.0	287,352	75.2
21年 上期平均	703,896	69.7	4,911	77.7	1,170	90.0	2,207	97.7	68,668	75.8	28,852	91.4	267,038	69.8
7月	730,509	72.4	3,661	57.9	1,327	102.1	2,305	102.0	77,182	85.2	31,229	98.9	292,370	76.5
8月	480,905	47.6	4,041	64.0	1,259	96.9	2,086	92.3	74,303	82.0	24,188	76.6	227,670	59.6
9月		0.0		0.0	1,446	111.2	2,545	112.6	73,179	80.8	30,763	97.4	236,205	61.8

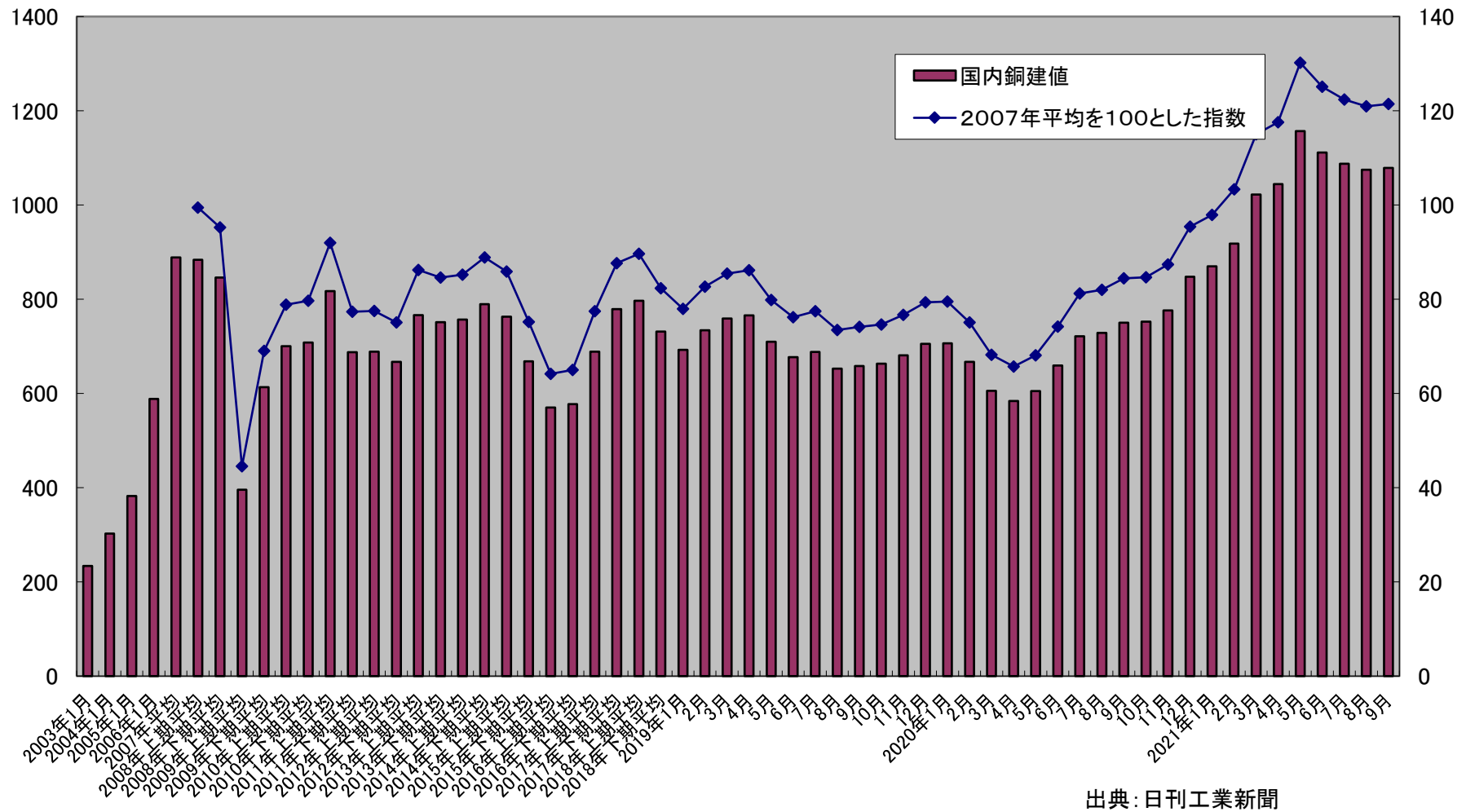
6. 最近のスクラップ価格指数時系列推移



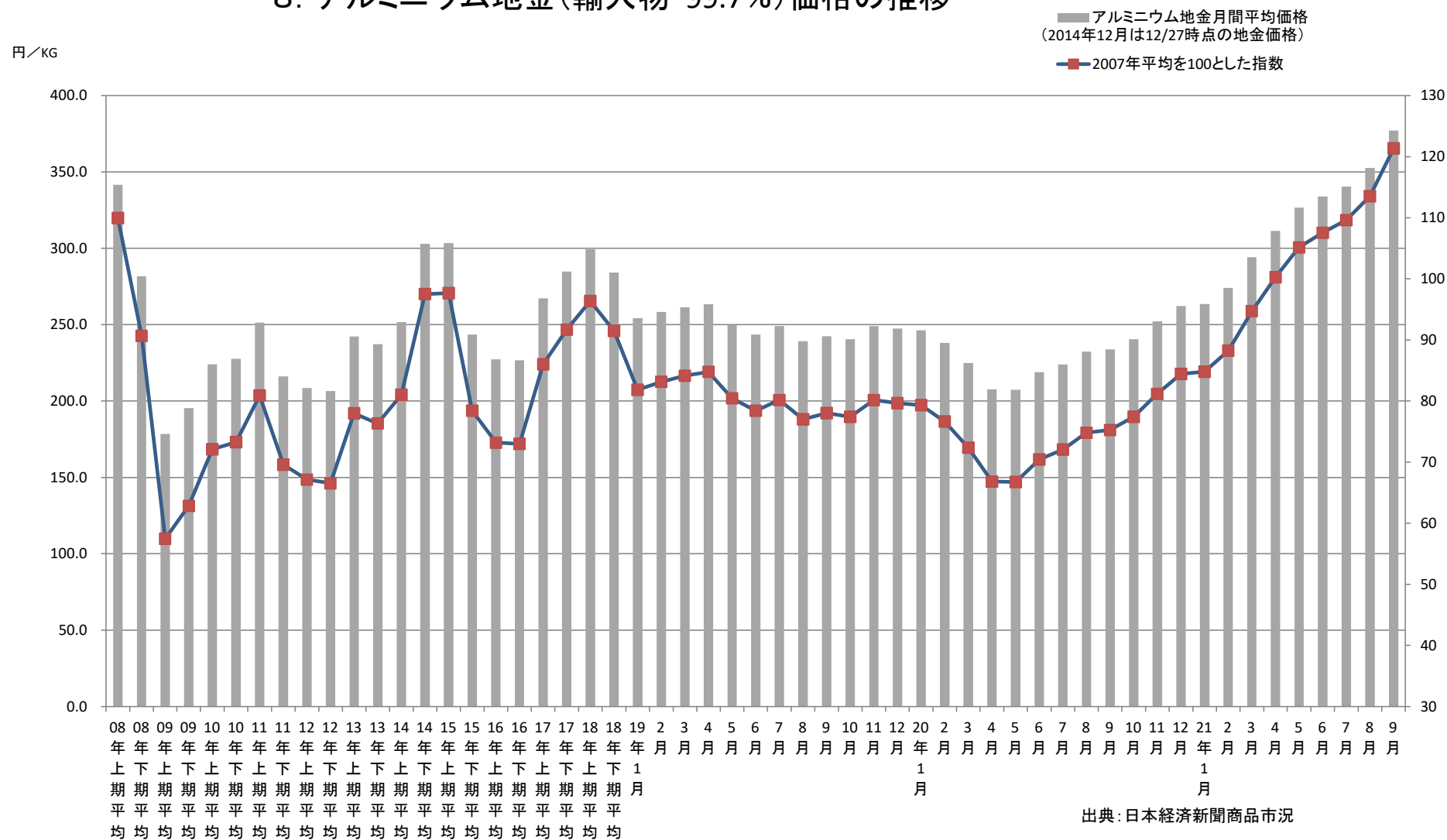
※上記可鍛コロ、新断バラの数値は日刊市況通信の公表価格(東京地区)の2007年12月末を100に指数化
またデータは、2007年12月～2019年12月は四半期月末の数値、2020年1月以降は各週末(金曜日)の数値を掲載

千円／トン

7. 国内銅建値の月別推移



8. アルミニウム地金(輸入物・99.7%)価格の推移

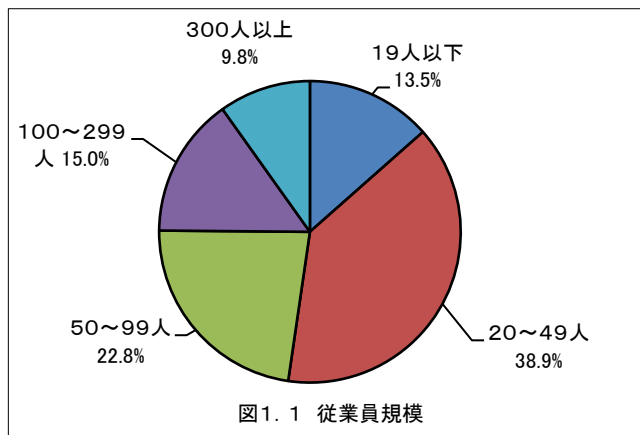


9. 鋳鉄鋳物製造業の2021年9月分景況調査結果(ジャーナル掲載用)

一般社団法人日本鋳造協会
経営部 市場調査委員会

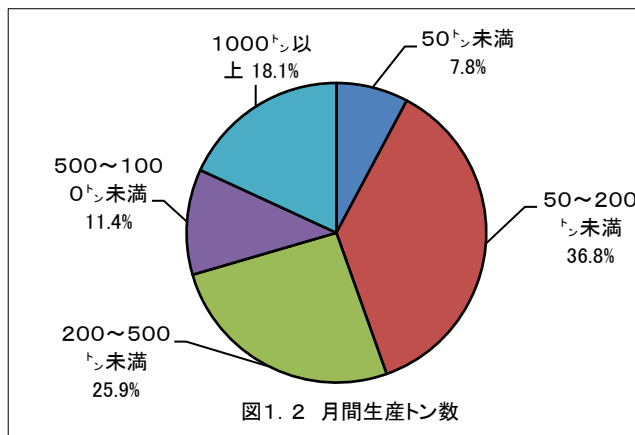
市場調査委員会では、鋳鉄鋳物製造業を営む当協会会員企業に景況調査を四半期毎に行うこととし、2021年9月分(第64回)の調査を実施し、193社より回答をいただきましたので、その調査結果の概要と第1回調査(2005年12月)からの推移を掲載します。

1. 1 従業員規模



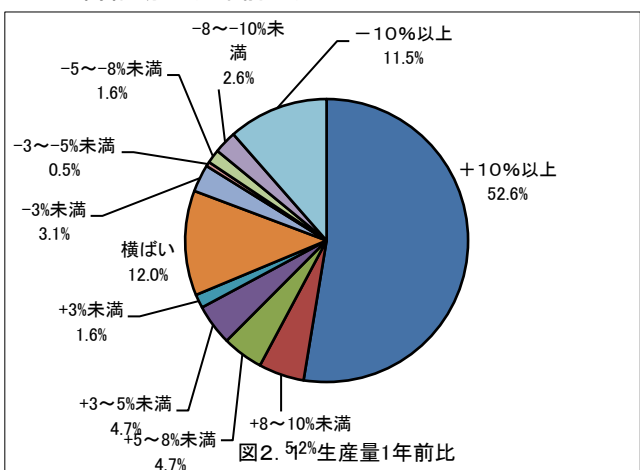
9月分従業員規模別の分布は、20～49人規模が38.9%と最も多く、次いで50～99人が22.8%、100～299人以下が15.0%、19人以下が13.5%となっている。

1. 2 月間生産トン数



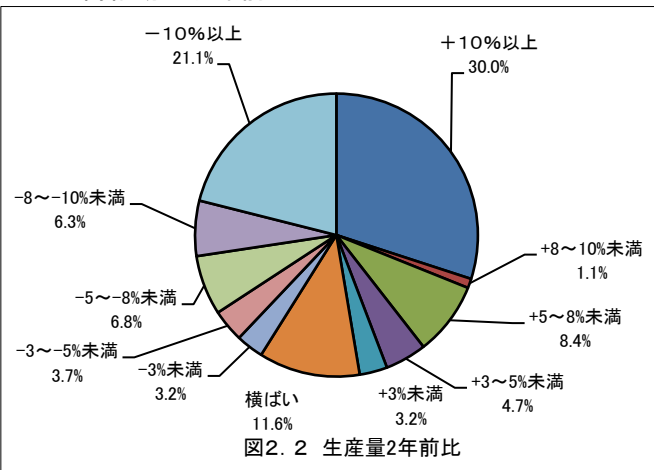
9月分月産生産トン数別の分布は50～200t未満の企業が36.8%で最も多く、次いで200～500トン未満が25.9%、1000t以上が18.1%となった。

2. 1 需給動向(1年前比)



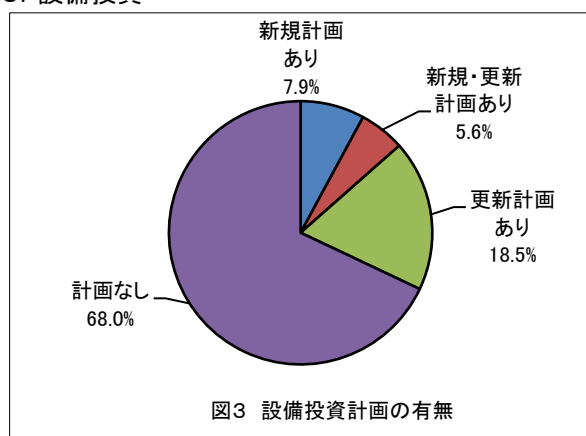
9月分生産量の前年同月比は、増加企業が68.8%、横ばい企業が12.0%、減少企業が19.3%。10%以上増加した企業が52.6%で10%以上減少した企業は11.5%となった。なお、10%以上減少した企業(22社)の内訳は、10%以上30%未満減17社、30%以上減5社、無回答0社となっている。

2. 2 需給動向(2年前比)



9月分生産量の2年前比は、増加企業が47.4%、横ばい企業が11.6%、減少企業が41.1%。10%以上増加した企業が30.0%で10%以上減少した企業は21.1%となった。なお、10%以上減少した企業(40社)の内訳は、10%以上30%未満減31社、30%以上減9社、無回答0社となっている。

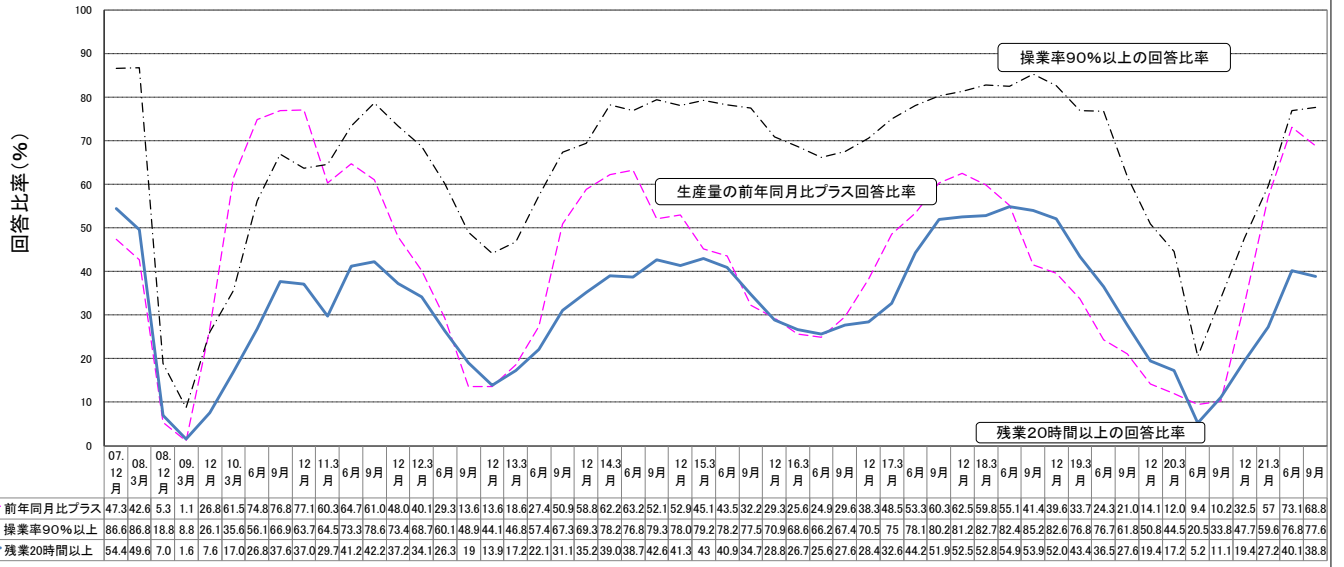
3. 設備投資



9月分設備投資計画の有無の状況は、今後何らかの設備投資を予定している企業は32.0%、うち新規計画ありは13.5%となっている。

4. 需給・操業動向

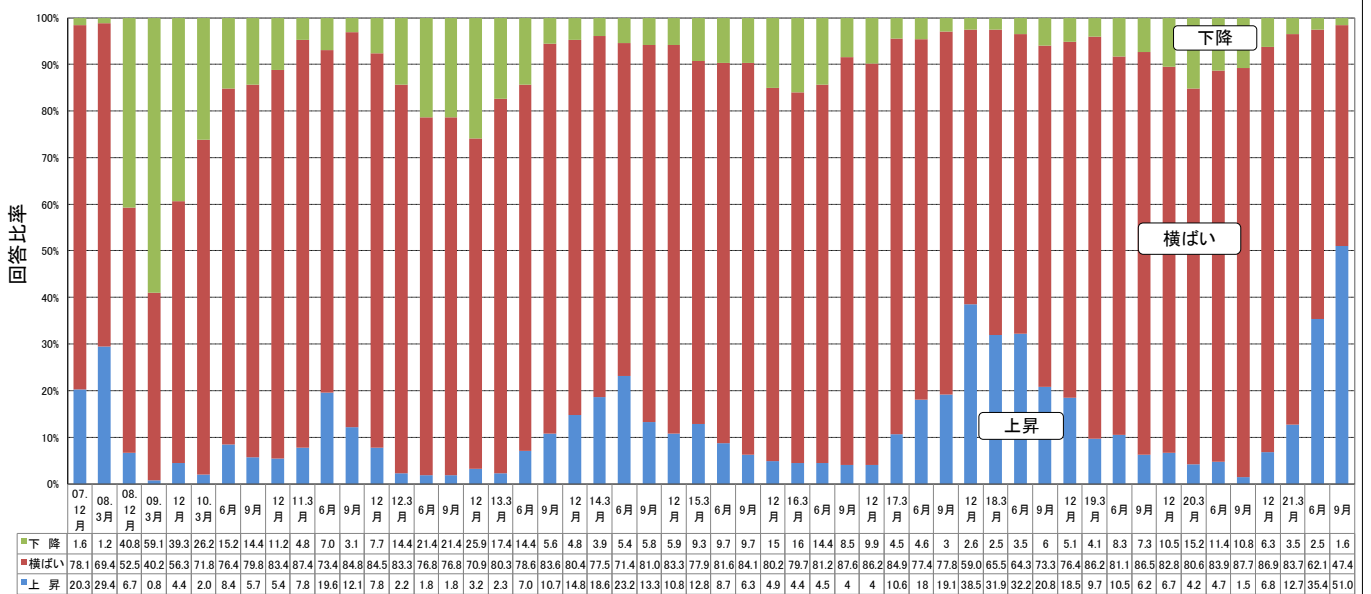
図4 生産量・操業率・残業時間の推移



生産量で前年同月比プラスの企業の比率は68.8%となり、前回調査(2021年6月)に比べ4.3ポイント増と、5調査ぶりに減少した。また、操業率90%以上の企業の比率は前回調査から0.8ポイント増の77.6%と、5調査連続の増加となった。残業20時間以上の企業の比率は前回調査比1.3ポイント減の38.8%となり、5調査ぶりに減少した。操業率は上昇したものの、生産量増加率、残業時間ともに減少しており、回復の鈍化が懸念される。

5. 受注価格の動向

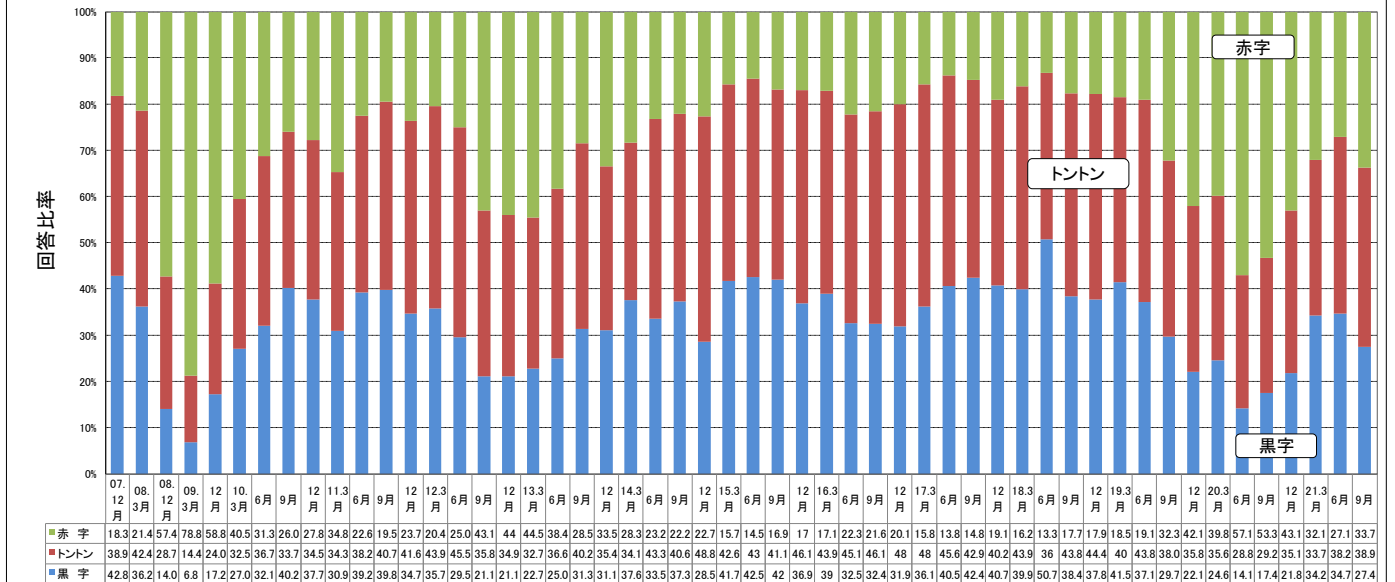
図5 受注価格の動向



受注単価の3ヶ月前対比では、上昇した企業は前回調査(2021年6月)に比べ15.6ポイント増の51.0%となり、調査開始以来初めての50%台となった。また、下降した企業の比率は前回調査から0.9ポイント減少し、1.6%となり4調査連続で10%を下回った。

6. 損益状況

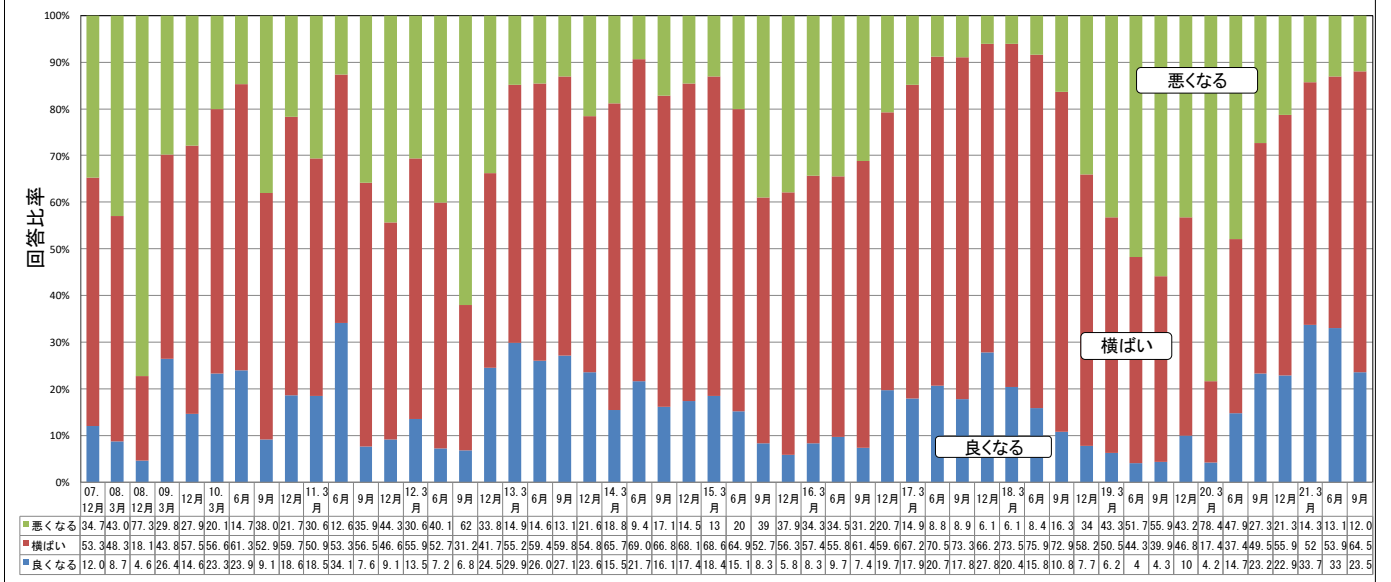
図6 損益状況の推移



黒字企業は前回調査(2021年6月)に比べ7.3ポイント減の27.4%と、3調査ぶりの20%台となった。トントンの企業は4.5ポイント増の38.9%、赤字企業は6.6ポイント増の33.7%となった。赤字企業が再び増加し、30%台となった。

7. 景況感

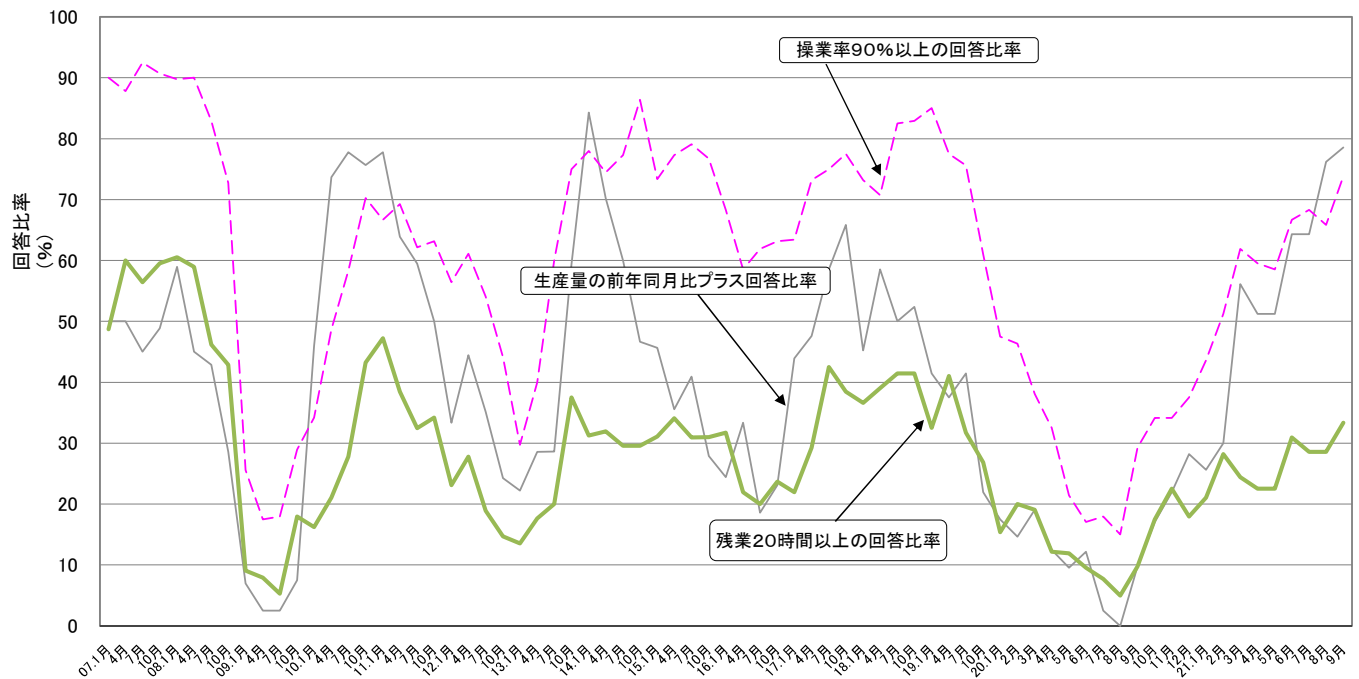
図7 今後の景況感



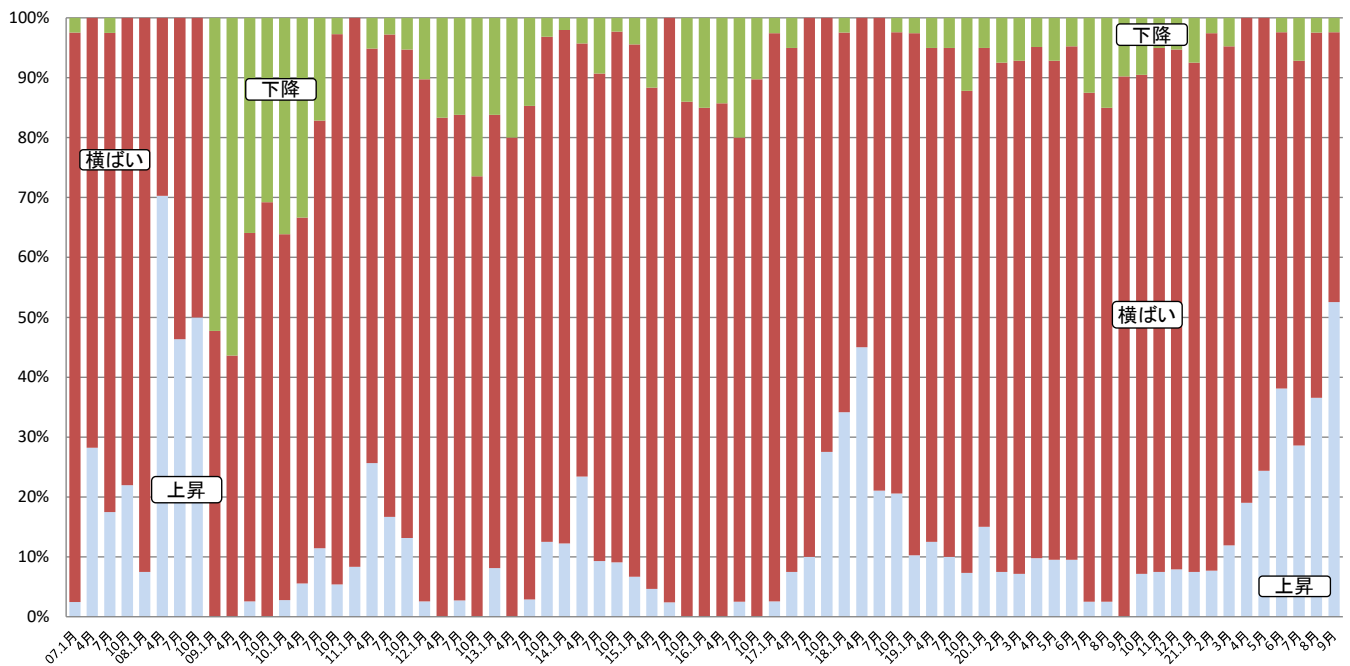
今後の景況感で「良くなる」と回答した比率は、前回調査(2021年6月)比で9.5ポイント減の23.5%、「横ばい」の比率は10.6ポイント増の64.5%、「悪くなる」の比率は1.1ポイント減の12.0%となった。「良くなる」が減少し、3調査ぶりの20%台となった。「悪くなる」は6調査連続の減少となったが、「横ばい」と回答した企業は前回調査に続いて上昇し、6割以上となったことから、今後の景況感是不透明感が強まった状態にある。

10. 景況調査(毎月45社)2021年9月調査分結果

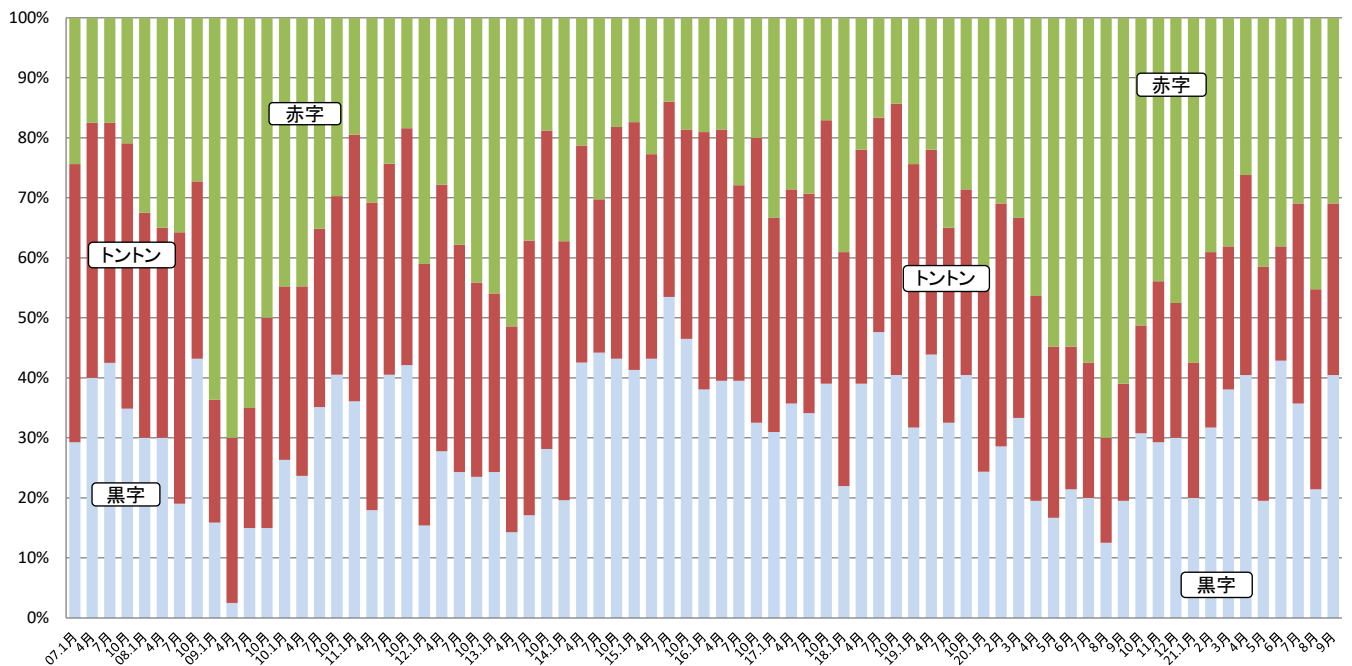
グラフ1. 生産量・操業率・残業時間の推移



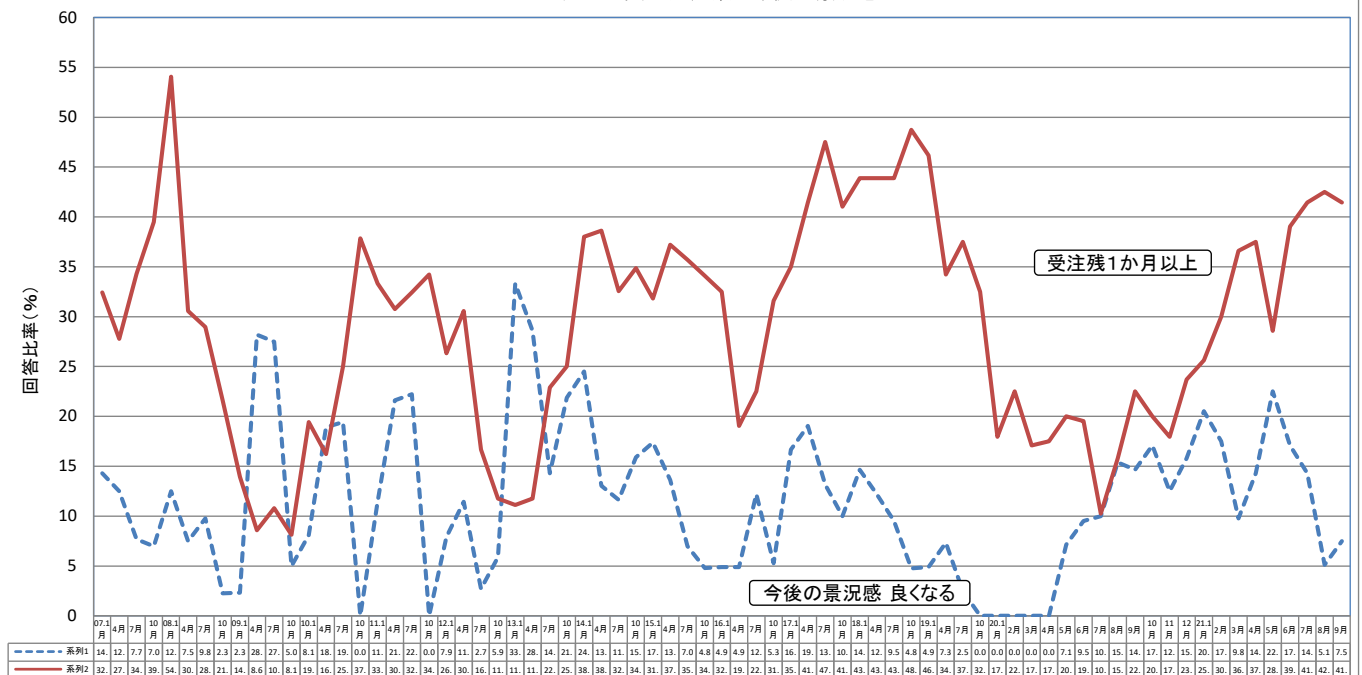
グラフ2. 受注単価の推移



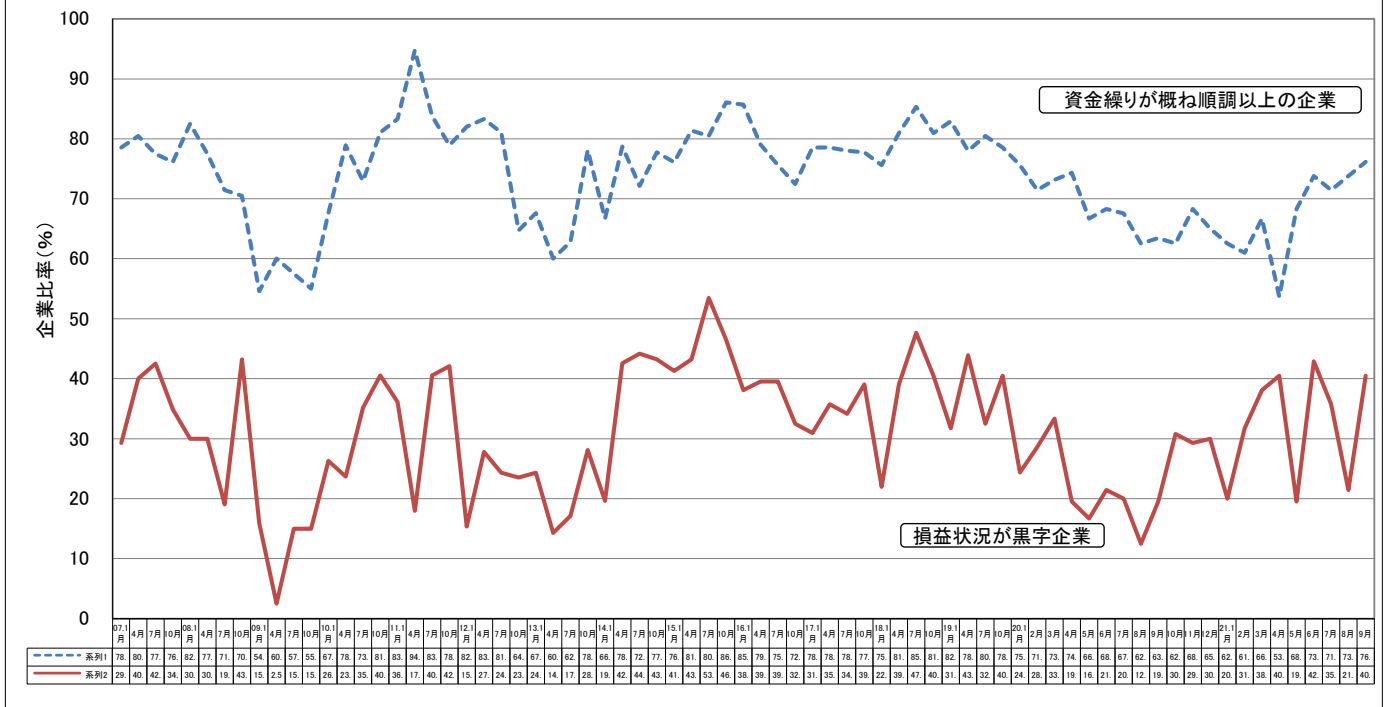
グラフ3. 損益状況の推移



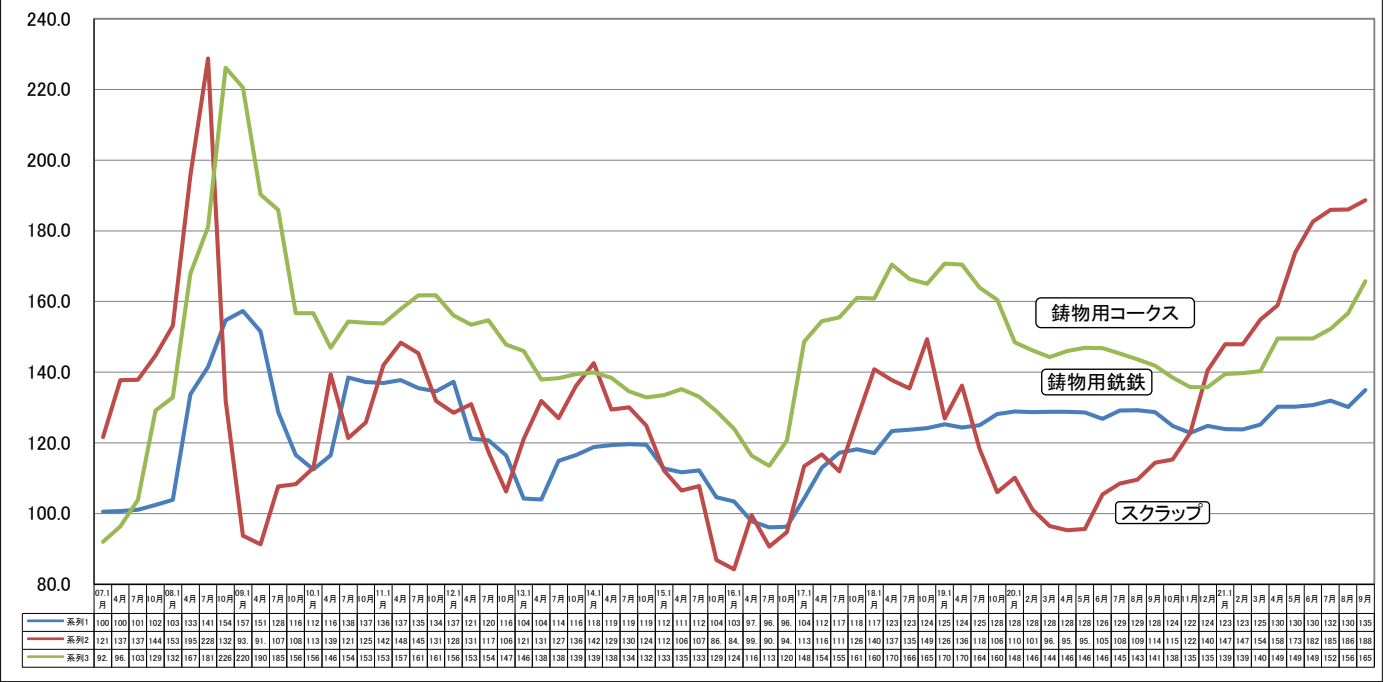
グラフ4. 受注残月数と今後の景況感



グラフ5. 損益状況と資金繰り状況の推移



グラフ6. 原材料平均価格指数の推移(2006年1月を100とする)



11. 鋳鉄鋳物製造業の転廃業の時系列推移

単位:件

(参考)

年	区分	倒産 (含会社更生・民事再生)	転業	廃業	休業	その他	合計	工業統計表 事業所数	
								(1人～)	(4人～)
1993年	H5年	3	1	28	2	2	36	1,661	1,364
1994年	H6年	6	7	40	4	2	59	—	1,281
1995年	H7年	2	4	19	1	0	26	1,543	1,248
1996年	H8年	2	1	17	1	0	21	1,475	1,186
1997年	H9年	2	1	21	0	0	24	1,453	1,168
1998年	H10年	7	3	17	5	0	32	1,427	1,101
1999年	H11年	3	5	26	0	0	34	1,271	1,009
2000年	H12年	6	2	23	1	1	33	1,288	1,017
2001年	H13年	3	10	28	3	1	45	1,175	929
2002年	H14年	7	7	28	0	1	43	1,120	835
2003年	H15年	2	0	13	1	2	18	1,083	834
2004年	H16年	2	2	15	0	1	20	1,047	788
2005年	H17年	3	0	6	0	1	10	1,027	805
2006年	H18年	2	4	6	0	0	12	1,017	762
2007年	H19年	2	4	5	2	2	15	1,038	765
2008年	H20年	2	0	11	4	0	17	999	766
2009年	H21年	7	6	11	0	1	25	998	725
2010年	H22年	5	1	3	0	0	9	968	706
2011年	H23年	0	0	2	0	0	2	1,013	737
2012年	H24年	6	1	5	0	0	12	1,065	714
2013年	H25年	7	0	7	0	1	15	1,018	678
2014年	H26年	3	0	11	1	0	15	960	645
2015年	H27年	1	3	7	0	0	11	1,044	668
2016年	H28年	2	1	2	0	0	5	885	599
2017年	H29年	2	0	5	0	0	7	864	586
2018年	H30年	0	1	1	0	0	2	848	584
2019年	H31年 R1年	3	0	2	0	0	5	※2011年、2015年は工業統計を実施せず。数値は経済センサス-活動調査結果より。個人経営調査票で把握した「個人経営」事業所を除く。	
2020年	R2年	2	0	4	0	0	6		
2021年 1-10月	R3年	1	0	2	0	0	3		
合計		92	64	363	25	15	548		

一般社団法人日本鋳造協会調べ